

# 分析シート

( ) 学校 ( ) 年  
氏名 ( ) 男 ・ 女

分析例 **C** 算数の授業中、  
計算問題を間違えてしまう

記入日 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日 ( ) 曜日  
記入者 ( )

「状況把握」、「理解・実践」、「ふりかえり」の順に進みながら、子どもたちにできる支援を考えていきましょう。

## 状況把握

「子どもが苦戦した場面」を見つけたら、その子自身が「どんな状況にあるのか」を詳しくチェックしてみましょう。

観察チェック①では、発見した「苦戦した場面」そのものを挙げ、

観察チェック②では、その子を取りまく環境、その子自身の状態について振り返ります。  
(①での気づきも含めましょう)

観察チェック③では、何がこの子の課題なのか、気になるところはどこかを見つめ、印をつけます。  
(重要度によって、◎、○など使い分けてもいいです。)

## 観察チェック①

苦戦した場面

算数の授業中、計算問題を間違えてしまう

分類		チェックの結果
起こった状況	いつ	算数の授業中
	どこで	教室
	だれが(だれと)	本人
	周りの状況、様子	仲の良い友達は、計算間違いを訂正してくれる
	起こる頻度	位の多い計算、特にかけ算・わり算のときは、誤りが多い
	他の気になる状況、様子	聞き返すことが多い(時間・距離・広さ・重さなど)
子どもの状態	目に見える状態	算数の時間になると元気がなくなり、声も小さい 簡単な文章題の立式はできるのだが、計算を間違えてしまい、テストの点が悪い
	予想される心理状態	計算力の弱さから、自信をなくして不安感が強くなり、算数の授業を受けたくないと思っている

観察チェック②

観察チェック③

分類			チェックの結果		これまでの結果を見て特に気になる点(◎、○など)	
環境	家庭	人的	親子、兄弟姉妹関係	家族の仲が良く、一緒に出かけることも多い	➡	
		物理的	住居		➡	
	学校	人的	教師、友人との関係	仲の良い友だちが複数いる	➡	
		物理的	学校環境		➡	
	地域	人的	地域の人との関係	あいさつの良くできる子だと好意的に見られている	➡	
		物理的	地域の環境	住宅街で落ち着いた雰囲気である	➡	
	社会	地域、地域・学校外の所属機関(チーム、習い事なども含む)	子ども会や地域の活動には参加することが多い	➡		
	自然	子どもが苦戦しやすい時間帯、季節、天候		➡		
発達	身体	身体全般の発達(不器用さ、感覚の問題など)	特に困難なことはない	➡		
	心理	情緒(不安定、感情の起伏などの心の発達状態)	おっとりしていて、おだやかである	➡		
	社会	コミュニケーション、社会性の問題	数値の入った事柄について聞き返すことが多い 買い物をして、おつりの計算ができない	➡	○	
	学力・その他	できること、できないこと、その他(体力、芸術等)	読み書きができ、感情を描写した作文を書くことができる 計算問題の間違いが目立つ、九九を覚えていない	➡	◎	

次は、③でチェックされた気になる行動を改めて書き出してみましょう。



## 理解・実践

観察チェック③でチェックした特に気になった部分を、観察チェック②からそのまま抜き出しましょう。それが、その子の課題につながります。

子どもがかかえている「課題」を明確にし、なぜ課題をかかえているのか、そうなるのか「仮説」を立てます。

仮説をもとにして、課題が改善できるような「手立て」を考えてみます。手立ては、具体的なものを思いっただけあげましょう。

さらに、実際の生活の中でできる実践の「方法」「期間」を設定して取り組みます。

観察チェック③でチェックした、特に気になった点を②から改めて書き出してみましょう。

### <観察チェック③から>

- ・数値の入った事柄について聞き返すことが多い
- ・九九を完全に覚えていないため、かけ算やわり算を正しく解くことができない
- ・数を量的に捉えることが難しい
- ・低学年の頃は、ジュウゴを105と書くなど位取りが難しかった

その子は、なぜそのような行動をとってしまうのでしょうか。本人はどんな課題をかかえているのか、なぜそうなるのか、仮説を立てましょう。

### <抱えている課題>

- ・計算問題を間違える
- ・九九を完全に覚えていない

### <仮説>

- ・短期記憶が弱く、聞いたことをすぐに忘れてしまう
- ・大きな数をイメージとしてとらえることが難しい

仮説をもとに、具体的な手立てを考えて、実践してみましょう。

### <手立て>

- ・乗除の計算には九九表を使う
- ・大きな数を扱うときは、位取りを明示した表やマス目の用紙を使う
- ・算数の問題は言葉で説明するだけでなく、図や絵などを用い、視覚的に提示する

### <実践（期間）>

- ・算数の時間は、必要に応じて九九表を机の上に置き、計算する（学級全員）（1学期間）
- ・マス目の用紙を使って計算する（1学期間）

# ふりかえり

実践が有効だったかふりかえりましょう。

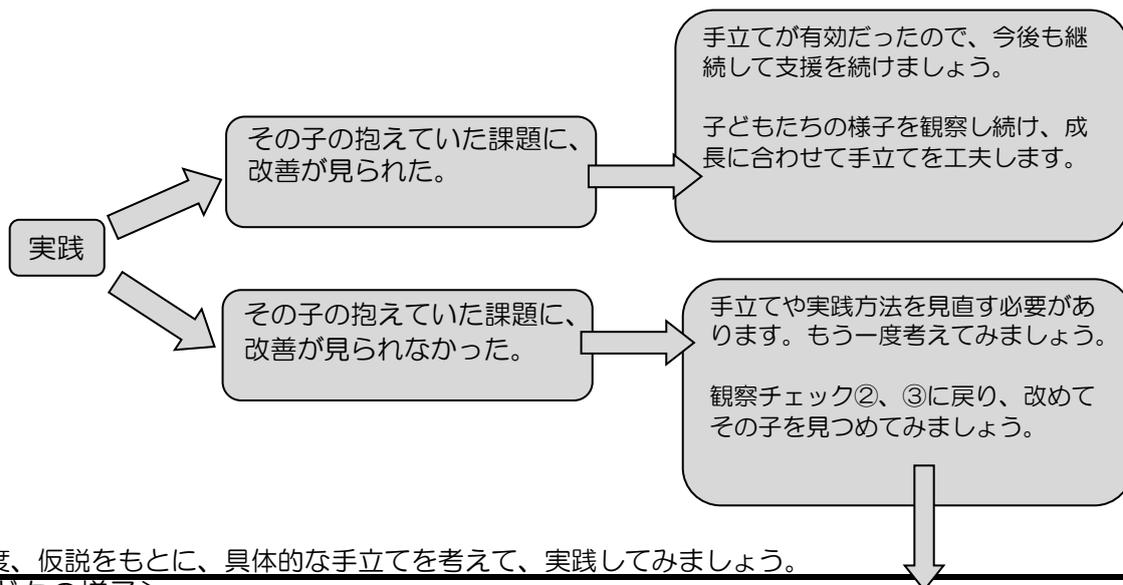
課題が全面的に改善されたのか、一部改善されたのか、方法・期間は適当だったかなど、考えてみましょう。

手立てや実践方法を見直す場合は、はじめの「観察チェック②、③」「仮説」などに戻り、その子を見つめ直してみましょう。

## <ふりかえり>

- ・マス目の用紙を使ったり、九九表を用いたりしたことで、スムーズに計算問題に取り組むようになった。しかし、自分の計算に対して自信のなさが見られた
- ・視覚的にも、問題を提示したことで内容の理解が進み、正答率が上がった

## <考察しよう>



## <子どもの様子>

- ・自分の計算が合っているか不安な様子が見えた

## <今後の手立て>

- ・答えを確認するために検算をしたり、電卓で再度確認したりする

## <その後の実践結果>

- ・計算問題は、電卓を使って答えを確認するための計算をした
- ・自分で答えを確かめられたことで、自分の計算力に自信を持つようになった